

●人口データ（令和5年9月末現在）

区 分	人 数	区 分	世帯・割合
人 口	1029 人	世 帯 数	650 世帯
14歳以下	29 人	一人暮らしの高齢者世帯数	135 世帯
15～64歳	334 人	高齢者のみ世帯数	74 世帯
65歳以上	666 人	高 齢 化 率	64.7 %
(75歳以上)	(387 人)	後期高齢化率(75歳以上)	37.6 %

住民アンケート・座談会より

東祖谷は古くから平家の落人伝説が語られ、今なおその伝説を随所に見られることもでき、地域の伝統行事、文化伝習を大切にしている地域です。また近年では、にし阿波の傾斜地農耕システムとして国連食糧農業機関より「世界農業遺産」に認定された地域でもあります。

東祖谷地区では13地区住協が活動を展開しており、各地区それぞれ、地域の特色にあった活動に取り組んでいます。5年前から高齢化率は8%も上昇し、地域住民の6割以上は高齢者という現状です。住民アンケート、座談会からの意見でも、少子高齢化、過疎化、空き家問題、後継者不足と多数の問題が課題として出ており、その中でも自然災害などで緊急事態が起こった場合、半分以上の方が「避難できない」という声がありました。理由として「介助が必要だが、近くに家族や頼れる知人がいない」「避難所までが遠い」また「避難所までの道が土砂災害警戒区域で家の方が安全だ」と、自主防災に対する支援の優先順位が高い結果となりました。その他の意見も踏まえ、今後の取組み、また支援策も課題としてとらえなければならない現状となっています。

今後の方向性

東祖谷地区は 2040 年には高齢化率が75%まで増加すると見込まれ、住民による住民支援に限界が見え始めている状況となっています。これに対し、地域内に留まらず、他地域、関係団体、行政との連携を今まで以上に強化していくことが、必要不可欠である。地区の存続、既存活動を継続していくためにも、アウトリーチ、ニーズ調査を積極的に行い、サービス提供に努め、支援活動を広げていくことが重要であり、地域全体と社協が協働し、住民を支え合う地域福祉活動を推進していきます。

重点事業 1

地域の絆を深める

地域での課題

▼ 少子高齢化、過疎化進行により、サロンや地域行事の参加者減少で世代交代が出来ない

課題解決に向けての目標

- 地域行事、サロンの情報共有
- 参加率向上へ繋がる声かけ運動と周知の徹底



取組項目	内容
集まる場づくりの強化	サロンや地域行事に、誰でも参加しやすいように周知、声かけの強化。
他の地域や他団体との交流を増やす	各団体との情報共有を図り、次世代との繋がりある環境づくりの推進。

重点事業 2

援助が必要な人に支援を届ける

地域での課題

▼ 要支援者のみならず、支援者も高齢になってきている
▼ 遠慮から地域住民の困りごとが届きにくい

課題解決に向けての目標

- 互いに無理のない役割分担を明確化し、常日頃のコミュニケーションを図る



取組項目	内容
声かけ、見守り活動の推進	迅速な対応が出来るよう、生活支援においてでも対象者、関係機関との連携の強化。
情報共有のネットワーク強化	地元地域において、実情にあった見守り、ネットワークの見直し強化。

重点事業 3

安全で安心豊かなまちづくり

地域での課題

- ▼ 緊急時の体制整備が十分でない
- ▼ 情報提供、共有方法が充実されていない

課題解決に向けての目標

- 関係機関と連携を図り、防災・防犯の啓発強化



取組項目	内容
防災訓練、防犯研修等の開催	いざとなった際に正しく行動等、対応できる様に学び、リーダー的な人材を養成(住民へのサポート含む)。
緊急時の支援体制の再構築	自主防災、集団避難時など、各行動におけるサポート支援体制の確立。



東祖谷福祉祭り